

# さんとめ通信7号 2025・1月

さんとめどんぐり村運営委員会

12月15日（日）に「どんぐり村冬の交流会」を開催しました。

2024年どんぐり村で活動したメンバーより11組の応募者がありました。職員からも4名の応援参加があり、一緒に落ち葉のはき初めを行なった後、さんとめ汁を味わいながら暖かな交流を行ないました。

組合員11組（大人16 子ども8）と職員4名で計28名と、久しぶりの大勢の参加となりました。11:15までは、皆で今年の秋初めての落ち葉はきを枝拾いと並行して行ないました。堆肥場前のエリアを中心に、ブルーシートと竹熊手を使って掃いてゆきました。経験者が多かったので、落ち葉はきは初めての人も、戸惑わずに一緒に作業ができました。枝拾いや枝燃やしも、応援職員と子供達でリヤカーを引っ張りながら頑張ってくれました。



11:20 ごろから、畑で収穫した野菜がメインのさんとめ汁がふるまわれました。生活クラブの醤油とだしパックで、スタッフの青木さんと宗像さんが美味しく味付けしてくれ、おかわり希望が並びました。お腹が落ち着いたころ、皆で自己紹介とこの1年の感想を述べてもらい、畑やヤマの作業の苦労と環境を守る大切さの実感をわかりました。





【参加された皆さんからの感想の抜粋です。】

大人にとっても、子どもにとっても、堆肥の  
作られ方を始め自然に触れて学べるところがよく、  
さんとお汁も頂き、美味しくて温まりありがたかったです。  
焼き芋もごちそうさまでした。(MH)



簡単な山作業を参加者が認識した事。  
参加者の紹介があった事  
三富汁以外に焼き芋があった事。  
来年も出来たら良いですね! (denka)

・・落ち葉掃きの時間があっという間に感じました。  
交流の時間に子どもたちが飽きてしまうので、  
まき割り体験をさせてもらえて良かったです。(福田)



年が改まってからも、落ち葉はきと堆肥作りは続きます。また、皆さんと一緒に汗をかきたいですね。  
参加者の皆さん、応援の職員の皆さん、山崎さん及び運営委員スタッフの皆さん、本当にお疲れ様でした。

(事務局 赤間)